

令和3年6月6日執行

尼崎市議会議員選挙

選挙公報

(定数 42名)

発行者 尼崎市選挙管理委員会



自由民主党
佐野 正徳

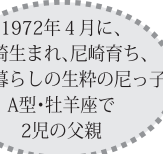
阪急武庫之荘駅北側駅頭での「あいさつ運動」9年目継続中

尼崎市政に1人でも多くのお声をしっかりと届けるため、私は、これまでの8年間と同じく、また来る日も来る日も駅前立ち、皆さまと笑顔であいさつを交わし、対話をひとつひとつ積み重ねていくことをお約束します。それが、尼崎市が元気で明るく笑顔あふれる街に近づく道と信じて、この先20年30年の土台作りを、日々目指し続けます！

インタビュー形式動画 (YouTube)

未来を担う子供達が一番輝いている街のために	工都 尼崎で働く人や企業が最高に輝いている街のために	防災 対策と利便性を増し最も輝いた街となるために
学習能力の「アカデミックスキル」、生き抜くために必要な「ライフスキル」、スポーツや武道を通じた「フィジカルスキル」を養い、心・技・頭脳に優れた未来の担い手育成の実現を目指します。	エコな工場の新設費用助成や法人税の優遇期間を設け、企業誘致により税収を増やし、公的サービス向上を目指します。 また、副業認可や勤務日時の自由度増にも取り組めます。	阪急武庫川駅の実現、阪急・JR・阪神の駅巡回バスルートの新設を目指します。 また、尼崎21世紀の森に子供の数だけ植樹し、木が街の防波堤になる「緑の堤防」構想の実現も目指します。

皆様と共にコロナに打ち克ち
笑顔と元気が輝くあまがさきに!!



1972年4月に、
尼崎生まれ、尼崎育ち、
尼崎暮らしの生粋の尼っ子
A型・牡羊座で
2児の父親



日本維新の会
別府 健一

身を切る改革 実をむすぶ改革 強い尼崎をめざします!

持続可能な好循環出来る「強い尼崎」をめざします!

●強いまち	●強い財政	●強い労働力	●強い福祉	●強い活力	●強い学力
●防災体制の強化 ●老朽危険空家の解決推進 ●マナーの良い住み良い街づくり	●コロナ禍における生活支援 ●市役所の内部統制の推進 ●税収増加で市民サービス向上	●職住近接で働き方改革の推進 ●創業支援・後継者不在支援 ●職場環境の充実	●コロナ感染拡大防止対策 ●障害者の自立支援 ●中学生までの医療費無償化 ●不幸な動物が生れない対策	●賑わいのある環境づくり ●市民活動の育成 ●民間活力の推進 ●阪急電鉄武庫川駅(仮称)の実現	●待機児童ゼロ ●ICT教育・学童保育の充実 ●塾代助成

日本維新の会

「別府けんいち」の実績

- 雨水貯留管工事場所 変更
雨水貯留管
議会での質疑No.1
- 尼崎宝塚線(阪急立体化工区) 歩行者トンネル新設 決定
- 住宅耐震改修促進事業に係る補助金代理受領制度 開始
- 老朽危険空家 動向に対する県助成金 開始
- 住宅最低敷地面積見直し 凍結
- 「あまがさき新型コロナウィルス感染症対策」みなで応援寄附金(寄附者一覧)掲載
- 隣地統合促進事業補助金 一部地域から市内全域 拡大

「別府けんいち」プロフィール
昭和42年5月24日
尼崎生まれ(54歳)
七松幼稚園 卒園
尼崎市立浜田小学校 卒業
関西大学第一中学校 卒業
関西大学第一高等学校 卒業
関西大学文学部 卒業
尼崎市内不動産会社 代表取締役
兵庫県宅地建物取引業協会
尼崎支部 元支部長
尼崎市議会議員選挙において
初当選(現1期)

あなたの声のミカタです!

私は、仕事しない父に支配され「言いたいこと」を言えない家庭で育ちました。家庭や職場、社会で同じ思いをしている方の味方になります。そして、未来へ希望があるバトンをつなぎたいです。

- 1971年5月生 無所属
- 関西鍼灸短期大学 卒業
 - 元関西西大心療内科 専攻生 研究員
 - 元日本ホリスティック医学協会 運営委員
 - 元尼崎市男女共同参画推進員
 - 未来政治塾(若田由紀子元議員助産師主宰) OB・OG会 幹事
 - みどりの未来・尼崎(丸尾麻里代表)メンバー
- 子ども達の生きる力を育むまち
・主体性を養う幼児教育
・障がい、不登校等の子ども達を取り残さない学習環境をつくる
 - 安心して誰もが暮らせるまち
・高齢者の集い場でフレイル予防・車いすルートマップ
・動物虐待防止のルールを明確化
 - 誰も孤立しないまち
・心理カウンセリングを取り入れた子育て相談窓口
・初期のうつ病対策
 - 地域循環型経済を推進し雇用を活性化
・阪神間の自治体が共同で経済と環境に取り組む仕組み
・道の駅で農業活性化

酒井 一 尼崎市議会議員
丸尾 まき 兵庫県議会議員
嘉田 由紀子 参議院議員



公明党 公認
嘉田 由紀子

Team Komei-Ama バックグラウンドの実行力!

- 目指します!
- 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援体制の強化
 - 不妊治療費用助成の拡充
 - 学力向上のために、1人1台タブレット端末によるICT教育の推進
 - 高齢者を支える仕組みづくりと福祉政策のさらなる推進
 - SDGsポイント活動と活用で尼崎を元気に
 - 災害に強いまちづくり
 - 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて
 - 保健・医療体制の強化
 - コロナの影響が大きい市民・事業者への支援の強化

- 主な実績
- まちづくり ●阪急園田駅のエレベーター設置 ●県立尼崎総合医療センターへのバス路線の新設 ●動物愛護センターのリニューアル
 - 子育て ●幼児教育・保育の無償化 ●子ども医療費助成の拡充 ●子どもの育ち支援センター(いくしあ)の推進 ●こどもクラブの夏季休業期間昼食を可能に ●不妊治療費用助成の推進
 - 教育 ●中学校給食の推進 ●小中学生1人1台タブレット端末配布 ●不登校対策 ●いじめ対策(STOPi)導入 ●就学援助金新入学学用品費の入学前支給と増額
 - 福祉・医療 ●ひとり暮らし高齢者等あんしん通報システム ●認知症患者とその家族の支援 ●がん対策の推進(医療用ウィップ助成等)
 - コロナ対策 ●PCR検査体制の強化 ●医療・介護・保育施設等への衛生用品の支援 ●事業継続支援給付金 ●感染拡大防止対策等支援補助金 ●あまがさきコイン(プレミアム商品券)
 - 安全・防災 ●ひと咲きプラザ前(若王子寺)信号機設置等安全対策 ●通学路の安全対策 ●災害時情報伝達の効果的配信 ●地球温暖化対策の推進

●出生/1964年12月31日、福岡県生まれ ●学歴/市立小園小学校、市立小園中学校、市立尼崎東高等学校卒業 ●経歴/昭和58年住友電気工業株式会社入社、平成17年尼崎市議会議員選挙初当選(4期)、尼崎市監査委員 ●現職/元尼崎西園田支部長、党県女性局長、市議会副議長、尼崎市保険鍼灸師会顧問、兵庫県理容生活衛生同業組合尼崎北支部アドバイザー



公明党 公認
嘉田 由紀子

松岡ようじ7の政策と目標

- 政策1 身を切る改革を含む政治改革
政策2 行財政改革
政策3 地域力の維持拡大
政策4 教育無償化
政策5 災害に強い街
政策6 高齢者が安心して暮らせる街
政策7 子どもが安心して暮らせる街

目標
・頑張っている人が報われる社会
・子どもたちが未来に希望を持てる社会
・動物殺処分ゼロ社会

松岡ようじプロフィール
経歴 地域活動での主な役職
尼崎市大庄西町出身 尼崎市立大庄幼稚園 卒園 尼崎市社会福祉協議会大庄支部 副支部長
生年月日: 1970年8月14日(50歳) 尼崎市立成文小学校 卒業 尼崎市立大庄小学校PTA 顧問
家族構成: 妻、娘、息子、愛犬8匹 尼崎市立大庄西中学校 卒業 大庄西社会福祉連絡協議会 会長
兵庫県立尼崎西高等学校 卒業(24期生、水泳部) 阪神武庫川駅周辺対策協議会 会長
松岡紙工 副代表 兵庫県立尼崎西高等学校同窓会 事務局長



日本維新の会 公認
松岡 ようじ

Impossible → I'm possible 不可能を可能に!

- 人に優しい尼崎へ
●子どもを安心して育てられる尼崎へ
身近なところで出産できる産婦人科医療の確保
ヤングケアラー、不登校対策の充実
学校給食の無料化の推進、有機、地産・地消費材の採用
●安心できる社会保障制度へ
国民健康保険、介護保険の保険料の軽減
特養とコレクティブハウスの増設
福祉サービスに従事する労働者の待遇改善
●多様な特性のある人も地域で暮らせるありまの町、尼崎へ
LGBTをはじめ多様な性をもつ人々の声が生かされる町に
障がい者の地域生活の支援、移動支援・就労支援の推進
- 環境に優しい尼崎へ
自転車の利用しやすい環境整備を
尼崎市に気候非常事態都市宣言を
- もっともっと住み続けたい尼崎へ
地域コミュニティ再構築のための諸援助の強化
エッセンシャルワーカーが安心して働ける公共調達条例の充実
合葬式の市立納骨堂の設置

プロフィール
●1953年 高知県生まれ ●1971年 住友精密工業に入社 ●2005年 尼崎市議に当選(現在4期目)
【現在】 ●武庫之荘 水と緑のまちづくりプロジェクト事務局長 ●園田フォーラム顧問
●生息連合福祉協議会顧問 ●上ノ島高齢者福祉を考える会会長



のりあき
つばき 徳昭

安心して投票していただくために めいすいくんと一緒に感染症対策を確認してみよう!

みなさまへのお願い

- ・マスク着用、咳エチケット、投票所出入口での手指のアルコール消毒、来場前後の手洗い等にご協力ください
- ・投票所内では周りの方と距離を保つようお願いします
- ・期日前投票をご利用の際は、投票所内の混雑緩和のため、あらかじめ選挙のお知らせ裏面の「期日前投票宣言書」のご記入をお願いします

投票終了後

●帰宅後は手洗い・うがいをしましょう